

コロナ支援・確定申告
何でも相談窓口

0120-22-0000 (平日午前10時
～午後4時)
京商連事務局が対応し、各民商に相談をつなぎます

京商連News

発行 京都府商工団体連合会
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入
函谷鉾町78番地
京都経済センター4階409
電話 075(353)3551 FAX 075(353)3552
http://www.kyoshoren.gr.jp/
E-mail: info@kyoshoren.gr.jp
1部10円(購読料は民商会費に含まれています)

消費税仕入れ税額控除否認を押し返す

自主記帳 自主計算 が力に!



納税義務消滅決定のたたかい報告会開催

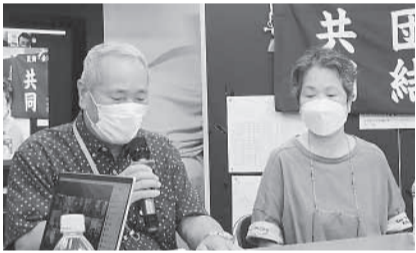
税務調査当時は山科民商会長、その後京商連副会長、経理センター理事長を歴任、現在は京商連相談役である今西和政さんは、消費税仕入れ税額控除否認の税金裁判をたたかいました。9月2日夜、山科民商会館にて、山科民商・協同組合京都府商工業者連盟(京商連経理センター)と共催で、21年に及ぶ「今西さんの税務調査・税金裁判・納税義務消滅決定のたたかい報告会」を行いました。会場には、税金裁判弁護団だった弁護士や各地の民商などから26人が参加。倉敷民商・榎屋さんを含むZoom参加は16アカウント、日本共産党国会議員団を始め、メッセージ17件が寄せられました。

今西税金裁判・納税義務消滅決定のたたかいは…

2001年7月、2人をおこないました。の東山税務署員が、今西和政さん(土木建築業)宅に、事前通知をせず、具体的な調査理由も開示せずに始まった調査。署員の目の前に帳簿書類を提示しているにもかかわらず、立会人の同席を理由として調査を放棄し、翌年3月に消費税の仕入れ税額控除否認、青色申告承認取り消し等で総額3千万円余りの更正処分

自主記帳・自主計算があつこそ 税務調査から21年間たたかえた

今西和政さん・美美恵さん



私の税務調査のたたかいは申告納税制度の尊重と納税者の権利を認め民主的な税務行政が行われるよう求めたたたかひでした。税務調査から21年間、いろいろなことがありましたが、これまで民商の仲間や事務局、

国民救済会を始め、多くの個人、団体の皆さんに支えられ、諦めずに粘り強くたたかってきた結果だと思っています。本当にありがとうございます。たたかひを通じて得た教訓は、1つ目が帳簿の記帳と原始資料の整理保存。家内がこの二つをきちんとしていてくれたからこそ、これを下に確信を持って闘つて

とができました。2つ目が組織の支えがあったこと。一つ一つの組織の力は小さいけれど、その力を全国から集め、困っている人たちを励ます事ができる組織が身近にあったからこそ、ここまで運動を広げることができました。3つ目が子供たちが励まし続けてくれた事。娘夫婦が経営に参加してくれたことも

あり、これからの将来、私が築いていた仕事を引き継いでくれる者がいることでこのまま終わってはいけないと強く思いました。このどれも一つでも欠けていたら今日こままでたどり着けなかったと私は思っています。今、社会情勢はコロナ禍や物価高、それに加えて来年10月からインボイス制度の実施

等、私たち商人にとつては大変厳しい情勢が続いています。しかし、こんな時だからこそ仲間と共に集まって話し合い、相談し、助けあって行動することが大切であり、この困難にも打ち勝っていかねばならないかと確信しています。これからも共にがんばりましょう。



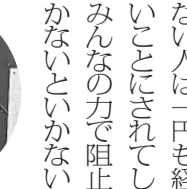
山科民商会長 宮村秀志さん



京商連会長 久保田憲一さん



弁護団 大河原壽貴さん



経理センター理事長 右京民商会長 高木冬彦さん

判決を求める」署名2万4千筆を提出しました。大阪高裁・最高裁への上告は棄却されました。その後、今西さんは丁寧な記帳、保管してきた資料をもとに、大阪国税局、国税庁に赴き、徴収の担当者と話し合いを重

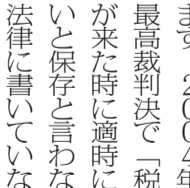
ね、2019年7月に執行停止の通知書(執行の停止が3年間継続したときは、納税義務が消滅すること)【国税徴収法第153条滞納処分の停止の要件等】、2022年8月16日に納税義務消滅通知書を受け取りました。

大阪高裁では帳簿を提示したのを認められたのは運動の成果でした。税法に立会人がダメだという規定はどこにもないので、労働組合で言えば団結権を阻害するもの。家族の団結が大きな支えになったこと。北村人権裁判に匹敵することなので、同じように本を出して全国に知らせてもらいたい。

な解釈。裁判所も権力側の組織なんだと。それとたたかうためには大衆的に団結していかないとはいけません。仕入れ税額控除否認というのは、額が一桁違うことで税務署にひどい権力を与えてしまっています。インボイスでも、登録しない人は一円も経費がないことになってしまふ。みんなの力で阻止していかないとはいけません。



弁護団 岩佐英夫さん



自主計算自主記帳自主申告、自ら数字をつかんで経営に生かしていくこと。信念を持ってたたかってきた今西さんがこういう形で結果したことからも、正しいことをやっていこうと経理センター一同やっています。